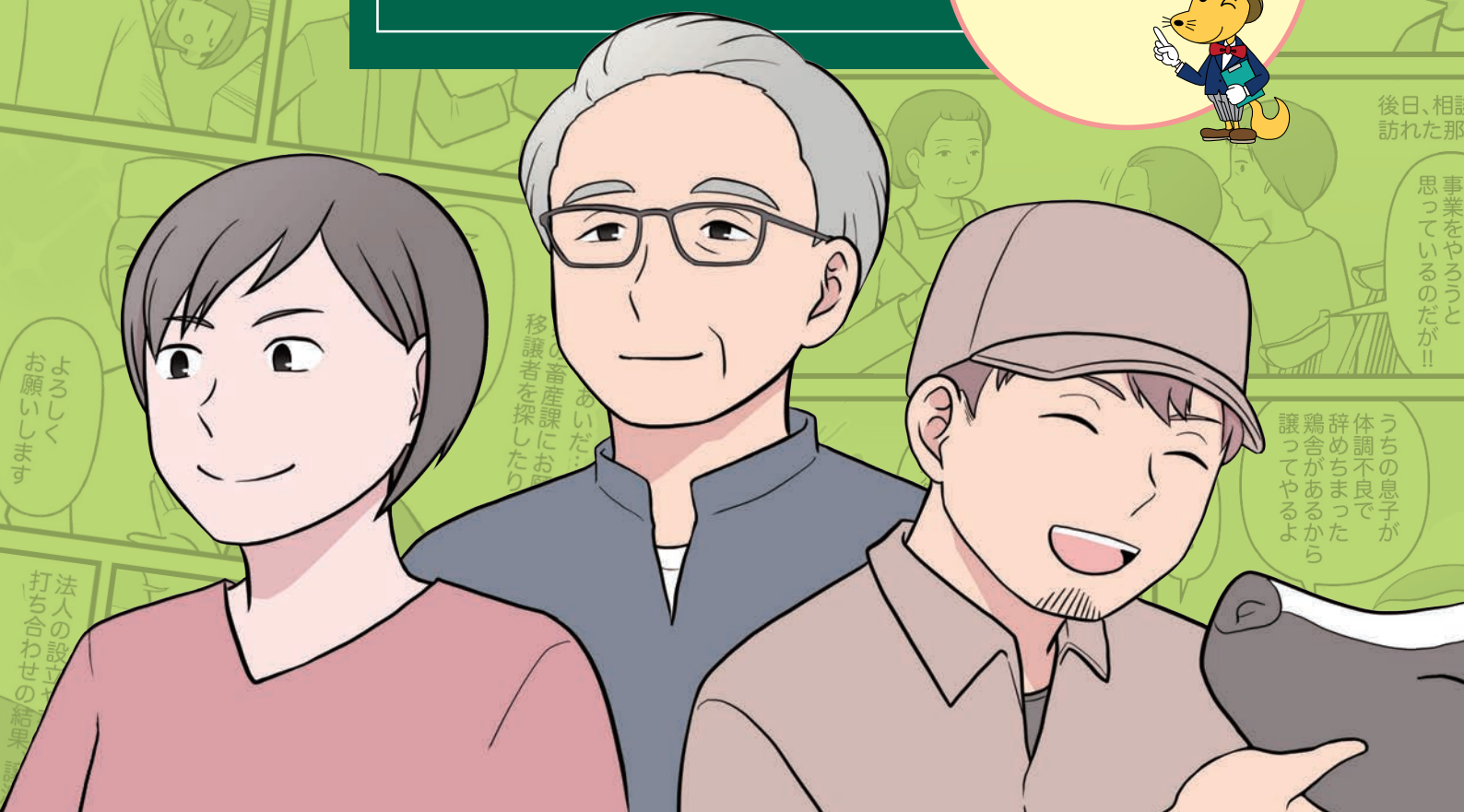


優良事例集

より良い経営継承のための

農業経営者のみなさまへ

グッドポイントや
ケアポイントを
詳しく解説



目次

経営継承とは？	2
事例集について	2

優良事例

事例1 親から子に継承（親族内継承／個人） 小岩昭夫さんの場合	3
事例2 親から子に継承（親族内継承／個人） 中橋文雄さんの場合	7
事例3 親から娘婿に継承（親族内継承／個人） 山口幸一さんの場合	11
事例4 親から娘婿に継承（親族内継承／法人） 有限会社妹背牛牧場の場合	15
事例5 知人に継承（第三者継承（従業員等）／個人） 小野幸徳さんの場合	19
事例6 仲介により継承（第三者継承（従業員等）／個人） 見谷勇さんの場合	23
事例7 酪農ヘルパーに継承（第三者継承（従業員等）／個人） 阿部隆一さんの場合 ...	27
事例8 民間企業に継承（第三者継承（従業員等）／個人） 鮎沢幸雄さんの場合	31
事例9 研修生に継承（第三者継承（従業員等）／法人） 浅小井農園株式会社の場合	35
事例10 従業員への継承（第三者継承（従業員等）／法人） 農事組合法人重兼農場の場合	39

経営継承とは？

後継者に継承するものには、経営権や土地・施設・機械・株式などの「目に見える資産（人・資産）の継承」だけではなく、「目には見えない資産（知的資産）の継承」もあります。

円滑に経営を継承するためには、後継者の育成も必要となるため、計画的に時間をかけて取り組む必要があります。早めの対応がおすすめです。



これから、皆さまを明るく農業の未来にご案内するコンシェルジュの「コン」です。よろしくお願いします。

継承する資産の構成要素



経営継承の類型

親族内継承

現経営者の親族に継承すること。

現経営者の子息や孫以外に、甥や娘婿が後継者候補になることが多く、農業においては、これまではこの類型が多かったが、近年は現経営者の子息が継承しないことから、後継者がいない経営も見られます。

第三者継承（従業員等）

現経営者の親族ではない者に継承すること。

共同創業者、親族以外の役員、部門長等の従業員や優秀な若手従業員等の多様な者が後継者になることが多く、農業においても、現経営者の経営内からの内部昇格などが近年は見られるようになってきました。

第三者継承（M&A）

農業法人を現経営者の親族や従業員等以外が経営する法人に継承すること。

現経営者の親族や従業員等に後継者候補が見当たらない場合に、マッチングサービスや仲介会社などを利用して譲渡先を探すことになります。

事例集について

この事例集は、令和3年9月から11月までにオンラインで全国の様々な経営継承の事例について調査を行い作成しました。

経営継承までのプロセスと継承の内訳を記すとともに、継承のグッドポイントとケアポイントをマンガにしました。